

再評価結果（平成15年度継続箇所）

事業名：高山国府バイパス（国道41号）		事業区分：一般国道	事業主体：直轄
起終点：自：岐阜県高山市冬頭町 至：岐阜県吉城郡国府町金桶		延長：6.3 km	
事業概要： 一般国道41号高山国府バイパスは、延長6.3 kmの幹線道路であり、現道の交通渋滞の緩和と緊急輸送路の確保を図ります。また、産業、商業、農業、福祉施設の交通連携を強化し、生活環境の向上を図るためのバイパスである。			
H5年度事業化	H3年度都市計画決定 (H9年度変更)	H9年度用地着手	H11年度工事着手
全体事業費	約310億円	事業進捗率	36% 供用済延長 0 km
計画交通量	28,100台/日		
費用便益比	B/C 7.3	総費用： 266億円 （事業費：247億円 維持管理費：19億円）	総便益： 1936億円 （走行時間短縮便益：1874億円 走行費用減少便益：27億円 交通事故減少便益：35億円）
事業の効果等		基準年：平成15年	
- (3) 中心市街地の活性化 高山市中心市街地へ至る現道が混雑 - (1) 都市圏の交通円滑化の推進 現道に第3次渋滞ポイント交差点が存在（国府町三川交差点） - (1) 道路の防災対策・危機管理の充実 現道に震災橋対策必要橋梁、法面防災対策対応箇所が存在等			
関係する地方公共団体等の意見： ・富山高山連絡道路（国道41号）整備促進期成同盟会（3市9町6村）が事業促進を要望			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等： ・東海北陸自動車道、高山清見道路の整備による、交流人口の増大、観光客数の増加。 ・通勤、通学等年々増える高山市への依存率、望まれる高山市と古川町、国府町間の交通連携。 ・団地開発、農業団地、福祉施設の開発。			
事業の進捗状況、残事業の内容等： ・高山市冬頭町～上切町 用地買収、工事实施中 ・高山市上切町～国府町金桶 用地買収、各種調査設計中			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等： ・平成10年代後半 1工区暫定供用予定 ・平成20年代後半 全線暫定供用予定			
施設の構造や工法の変更等： ・土工部におけるプレキャスト製品の積極的な採用 ・土工部における補強土壁工法採用によるコスト縮減			
対応方針：事業継続			
事業概要図： 			